

2022年3月14日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱HCキャピタル株式会社海外現地法人で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{ほんざわ じゅんいち} 半沢 淳一（以下、当行））は香港支店を通じて、三菱HCキャピタル株式会社（代表取締役 社長執行役員 柳井 隆博（以下、三菱HCキャピタル））のグループ会社である Mitsubishi HC Capital Management (China) Limited（Managing Director 佐藤 恵一（以下、三菱HCキャピタルMC））との間で、東アジアにおける日系企業の海外現地法人としては当行で初めてとなる、ローン・マーケット・アソシエーション¹⁾等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるローン契約（以下、本契約）を、本日締結致しました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPTs）を設定し、金利などの貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、2つの SPTs が設定されており、SPTs の達成状況に応じて優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。本契約の SPTs に掲げた内容は、三菱HCキャピタルMCの財務統括機能を生かし、香港における脱炭素社会の推進やサーキュラーエコノミーを実現する上で重要な役割を担っております。

本目標は、三菱HCキャピタルMCにとって意欲的な目標設定となっており、脱炭素社会実現への貢献、持続可能性の改善に結びつくものとして、意義深い取り組みと考えます。

【サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット】

マテリアリティ	サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット
脱炭素社会の推進	2023年3月末までに香港において太陽光発電設備設置サイト35箇所を達成
	2023年3月末までに香港において電気自動車管理台数700台、全自動車管理台数に占める電気自動車比率5.74%を達成

【本ローンの概要】

契約締結日：2022年3月14日
貸付人：株式会社三菱UFJ銀行香港支店
金額：500百万香港ドル（73億円相当）
期間：2年
資金使途：運転資金

また、本契約では、香港品質保証局（Hong Kong Quality Assurance Agency）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPTs の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 60 ヶ国以上約 700 機関が加盟。

以 上